

人間社会学部／地域社会コース	職名	教授	氏名	岡本 雅享
----------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1997年横浜市立大学大学院国際文化研究科修士課程修了。2000年一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。国際学修士。社会学博士。1991～93年、中国の北京師範学院（現在、首都師範大学）、中央民族大学民族語言三系（現在、中央民族大学少数民族語言学院）に留学、少数民族二言語教育の研究・調査を行う。2008年度、San Francisco State University (College of Ethnic Studies, Japanese American Studies)で Visiting Scholar。学内外で”Hidden Diversity of the Japanese People”に関する講演等を行う。2012年度から明治学院大学国際平和研究所（PRIME）研究員。

1989年以来、在日コリアンを中心とするマイノリティ・ライツの研究・活動に従事してきた。国連 ECOSOC NGO での3年間の勤務を含め、ジュネーブ国連欧州本部を中心とした国連人権活動に報告・提言の提出、会議への参加・発言等を通じて参加。2000年代後半から、明治以降の Nation Building の中で非ヤマト世界と位置付けられてきた出身地の出雲や東北のエミシ、南九州のクマソ=ハヤトなどの視点から、同質社会幻想で覆われてきた日本人（国籍者）の内なる多様性を解き明かし、日本人意識の脱構築（マジョリティ意識の転換）とマイノリティ・ライツの保障による多文化主義の構築にかかる研究を試みている。また日系移民を通してみるハワイ社会の多様性、新たな原住民（先住民族）の承認や民族語の復権・維持を図る台湾、日本と同様、移民の増大に伴い、多文化社会へ移行しつつある韓国などの研究者との交流も続けてきている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 『マイノリティ・ライツ—国際規準の形成と日本の課題』現代人文社、2024年（共著）
- ・ 「일본 Nation Building 의 탈구축 — 비(非) 야마토 민족 서발탄의 주체화 시도에 주목하면서」『일본연구 (日本研究)』第98号、2023年12月
- ・ 「日本のネーション・ビルディングで隠された多様性」韓国外国語大学校日本研究所第4回国際シンポジウム招聘講演、2023年6月10日、ソウル
- ・ 『越境する出雲学—浮かび上がるもうひとつの日本』筑摩選書、2022年（単著）
- ・ 「ミホススミに光を！プロジェクト」の意義と成果『福岡県立大学人間社会学部紀要』31巻1号、2022年10月
- ・ 「保守とリベラル、右派と左派—日本政治のための概念整理」（後編）『福岡県立大学人間社会学部紀要』30巻1号、2021年10月

②その他最近の業績

③過去の主要業績

- ・ 『出雲を原郷とする人たち』藤原書店、2016年（単著）
- ・ 『民族の創出』岩波書店、2014年（単著）
- ・ 『中国の少数民族教育と言語政策』増補改訂版、社会評論社、2008年（単著）

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本平和学会、日本社会学会、移民政策学会、エミシ学会

6. 担当授業科目

政治学・2単位・1年・前期、国際政治学・2単位・1年・後期、多文化社会論・2単位・2年・前期、東アジア関係史・2単位・2年・後期、公共社会学研究・4単位・3年・通年、卒論指導・4単位・4年・通年

7. 社会貢献活動

飯塚研究開発機構理事

8. 学外講義・講演

かみがたりネットワーク（糸魚川・出雲・諏訪三市共催）「出雲から高志・信濃へ—神語りが映し出す地域間交流」2023年10月21日、出雲市

第12回出雲学フォーラム「列島各地の出雲から見えてくる《もう一つの日本》」2023年11月25日、松江市

9. 附属研究所の活動等